

令和6年度教育事業 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」
「地域探究オリエンテーション合宿 羽咋高校地域探究トライアルキャンプ」

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」とは

国立青少年教育振興機構が令和2年度に新設した「全国高校生体験活動顕彰制度『地域探究プログラム』」は、高校生の体験活動を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度である。取組を段階的に分けており、ステップⅠ「地域探究トライアル」では「探究」の学びと実践を、そしてステップⅡ「地域探究アワード」では意欲の高い高校生向けに実践活動の顕彰を行う。

1 趣 旨

羽咋高校第1学年生徒が、羽咋市を中心とする地域社会づくりや地域が抱える課題解決などに関するフィールドワークを通して、問題発見・解決能力の基礎を身に付け、今後の探究活動に活かすとともに、地域や社会の将来を担う人材の育成を図ることを目的とする。

2 実施日 ・ 参加人数

(1) 期 日

①令和6年7月22日(月)～7月23日(火) 1泊2日

・羽咋高校1. 2組 72名

②令和6年7月24日(水)～7月25日(木) 1泊2日

・羽咋高校3. 4組 74名

(2) 研修内容及び講師

- | | | |
|----------|-------------------------|----------|
| ・幸福観想コース | たきの一ほ一む風和里 羽咋高齢事業部長兼管理者 | 森川 みなこ 氏 |
| ・自然共生コース | 羽咋市役所総務部まちづくり課長 | 崎田 智之 氏 |
| | 国際朱鷺保護交流館館長 | 村本 義雄 氏 |
| ・文化伝承コース | 羽咋市歴史民俗資料館学芸員 | 中野 知幸 氏 |
| | 菅池獅子舞保存会 | 横山 孝信 氏 |
| | はくい獅子舞保存活性化実行委員会 | 諏訪 雄士 氏 |
| ・環境新創コース | 羽咋郡市広域圏事務組合 | 池田 希望 氏 |
| | 農家レストランむろたに | 室谷 加代子 氏 |
| ・交流創出コース | 羽咋市役所総務課まちづくり課係長 | 松岡 正樹 氏 |
| ・健康躍動コース | 石川県立看護大学教授 | 垣花 涉 氏 |
| ・歴史国宝コース | 金沢学院大学名誉教授 | 東四柳 史明 氏 |
| | 金沢工業大学教授 | 山崎 幹泰 氏 |
| | 妙成寺執事 | 大森 教生 氏 |
| ・防災減災コース | 石川県防災活動アドバイザー | 松井 喜憲 氏 |

(3) 日程

時 間	7月22日(月)、7月24日(水)	時 間	7月23日(火)、7月25日(木)
8:15 8:25	学校集合 学校出発	6:00 6:30 7:00 7:30 8:30	起床・洗面・着替え 清掃 朝のつどい(かんぼ広場) 朝食 部屋点検
9:00~9:30	開講式 (日程及びFW先の確認等) ※荷物移動等も含む	9:00~11:50	フィールドワーク② 「地域課題の探究」
10:00~ 14:30	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	12:00~ 13:00~ 13:50 14:00~ 14:50	<昼 食> 講義・演習③ 「行動計画の基礎」 ※発表資料作成
15:00~ 15:50	講義・演習① 「地域理解」	15:00~ 15:50	発表① (グループ発表)
16:00~ 16:50		16:00~ 16:50	
17:00 17:30	タベのつどい(かんぼ広場) 入所OR(施設の使い方)	17:00~ 17:50	閉講式 実践活動のためのガイダンス
18:00~	<タ 食> ベッドメイク・休憩	18:00 18:20	バス乗車 帰校 解散
19:00~ 19:50 20:00~ 20:50 21:00 22:00 22:30	講義・演習② 「課題解決の基礎」 入浴 就寝準備 消灯・就寝		

(4) フィールドワーク概要

- 幸福観想コース 風和里の取組についての聞き取り、地域の高齢者の現状についての話を聞く。
風和里利用高齢者及び地域の高齢者と交流する。
- 自然共生コース 邑知潟の生息する外来生物を採取・調査し、邑知潟の実態を知る。
駆除ではなく、外来生物とともに生きる方法を考える。
- 文化伝承コース 羽咋市の獅子舞文化及び獅子舞保存活性化実行委員会の取組を聞く。
羽咋市歴史民俗資料館および深江八幡神社を見学する。
羽咋市の菅池地区の獅子舞の現状を知る。

- 環境新創コース クリソルはくい・第2埋立処分場の見学と質疑
エコクッキングで郷土料理を学ぶ。
羽咋市のごみ行政についてトークセッションする。
- 交流創出コース 羽咋市をはじめに過疎化が進む能登において、賑わいの創出により暮らしを
繋げる取組について聞く。
関連施設の見学、地元商店街の事業者との交流を通して現状を知る。
- 健康躍動コース 健康の意味について話を聞いたり、フィールドワークを通して考えたりする。
- 歴史国宝コース 妙成寺見学と国宝認可への取組を聞く。
- 防災減災コース 能登半島地震を受けて、今後同様の災害に対し、柔軟に対応していくまちづ
くりについて考える。
関連施設の見学、地域の町内会長等との交流を通して課題や現状を知る。

3 成果と課題

本事業に参加した生徒から、事業での学び等について事後アンケートを行った。

(1) トライアルキャンプでの学びについて（生徒の記述より一部抜粋）

- ・実際に現地に言って地震の被害を見てみるとその問題について身近に捉えることができ、自分達には何ができるか等を考えることができた。
- ・現在の状況や問題点を、しっかりと自分で把握して問題解決に向かって自分で解決方法を、考えることがとても大切だとよくわかりました。正解のない課題について考えることは難しいけど、自分の意見を答えとして出すことが出来るのがとてもいいなと思いました。
- ・町おこしの大変さがわかった。市民だけではなく、商工業者などの幅広い人のニーズに答えることの難しさや、予算をどう使うなど簡単に行かないことがたくさんあった。少しずつ良くなるように努力する姿勢を大切にしていきたい。

(2) 今後取組みたいことについて（生徒の記述より一部抜粋）

- ・今回のトライアルキャンプを通してまだ自分の町の獅子舞のことなどを詳しく知れていないことに気づいたので 自分の町についてもっと知り、文化を伝承するために何が出来るかを考えていこうと思いました。
- ・地域の課題を解決するために、自らボランティア活動などに地域の一員であることを自覚しながら取り組んでいきたい。
- ・羽咋市の抱える課題を実際に考えた解決策で試して、そこからまた課題を見つけ羽咋市をまたより良くしていきたい。

(3) 事業における成果と課題

① 成果

- ・令和5年度から羽咋高校校長及び担当教諭との連携を密にし、時期や内容を検討した。生徒の実りある学習になるようフィールドワーク・講義は1泊2日で実施する等、高校の意向に合わせた事業運営（FW先の選定、講義・演習の職員研修等）を行うことができた。

② 課題

- ・バス2台と公用車2台でのFW先へ移動した。天候などにより活動内容が変更するコースもあったため移動に関わる交通手段の調整が必要となった。来年度に向けてフィールドワークの活動内容（雨天対応）を計画し、円滑に実施することができるようになりたい。